

子どもも 楽しんだ！ おとなも がくどうまつり



41ルームから、
約600人が参加

「がくどうまつり」(主催 船橋市学童保育連絡協議会・後援 船橋市)が、10月28日(日)JR船橋駅北口の天沼公園でおこなわれました。当日は雨模様でしたが、市内41校から大人も含めて約600人が参加し、コーナー遊びなどを楽しみました。

がくどうほいく

ふなばし

6 市連協だより <がくどうまつり特集>
2001.11.16 発行 船橋市学童保育連絡協議会
(Tel/Fax) 047-433-9266
(ホームページ) homepage2.nifty.com/fehrk/

つくってあそぼうコーナー

よくうなる‘びゅんびゅんごま’、ふくらむ‘スライム’、ふうせんを動物などの形にした‘ペンシルバルーン’、輪ゴム掛けに苦労した‘割り箸鉄砲’、方向違いに飛んだ牛乳瓶の‘キャップ鉄砲’、折り紙の‘紙飛行機’、セメダインをべとべとさせながらの‘ペーパーレーン’をつくって遊びました。

たのしくあそぼうコーナー

新井安太郎さん(剣玉10段82才・江戸川区在住)の見たこともない技に、みんなで口あんぐり。

通りかがりの中学生も夢中にしたベゴマ、チラシでつくった輪投げ、ペットボトルのボーリング、プロ野球の投手をめざしてのストラック・アウト、誰でも乗れるようにと指導してくれた一輪車、乗り方がわからないオットットの「やっここ」で遊びました。



あそびコーナーは、「けしゴムスタンプ」をおしてもらうスタンプ・ラリーとしました。こどもたちは、スタンプが3つ以上たまるとおやつをもらい一休み、そのあとまた回っていました。

フィナーレの“ふうせんわりゲーム”は、全員参加でふうせんを足につけ、ワーワー・キヤーキヤーだれかまわず追いかけてまわし、大汗！！

割れなかったふうせんは、ゴミ袋でつくった巨大気球に入れて、こどもたちの小さな手で打ち上げました。これには、こどももおとなも大感激していました。



【一輪車コーナー】

約三〇人の子どもたちが来てくれ、途中で競技も行いました。初めて多くの子を教えたので不安がありました。が、一定集まって楽しんでくれてよかったです。要員を多くして、一人一人をきめ細かくみれるようにできればもっとよかったです。
『若松・父母』



参加したお父さんお母さん子どもたち、みんな生き生きしていて、とてもうれしくなりました。期待していたケン玉おじいさんは、予想以上。あんなにたくさんさんの技があるのですね。両手でもできるなんて、見ていなければ信じられない技術です。子どもたちの目もまん丸。おもちゃ箱の奥に眠っていたケン玉、久々に引っ張り出したいと思えます。(行田父母)

ケン玉名人のワザ

子どもたちは夢中になって手作りの遊びを楽しんでいました。巨大バルーンも感動的でした。これだけの準備をしてくださった実行委員のみなさんありがとうございました。

<塚田放課後ルーム・父母>

1回目とは思えないほどよかった！食べものが少ないことが返って子どもたちを遊びに向けさせたのでは。バルーンはもう少し改良して恒例の行事として続けてほしい。音楽もよかった。

<行田西放課後ルーム・父母>

参加して
よかったよ

がくどうまつりの翌日、参加した子どもたちが、「楽しかったよ！」と話してくれました。そのうち1人は、ほとんどのコーナーを回ったようです。3つのスタンプでお菓子をもらってからも、さらにいろいろなコーナーを回っていました。コーナー遊びがどれも楽しめたものだったのではないのでしょうか。

あの雨でも600人の参加があったのですので、晴れたらもっと多かったです。来年もやりたいです。<指導員労組>

子どもたちが力を合わせて手製の気球(風船)を上げて歓声をあげるのを見て、参加させてよかったなあと思いました。役員のみなさんごくろうさまでした。<塚田放課後ルーム・父母>

上(中3)の子は学童で大きくなり、下(小1)の子は、放課後ルームに通っています。久しぶりに「がくどう」に触れて、楽しかったです。(懐かしいお顔を拝見して) <田喜野井・父母>



まつりのオープニングは、小栗原おやじバンドとこどもたちの歌で始まり、大空に舞い上がったバルーンと「翼をください」の合唱でエンディングを迎えました。参加者から、「熱気球をあげるシーンで子どもの笑顔が感動的だった。それに、翼をくださいがすごくマッチしていた」と感想を寄せてくれました。おやじバンドのみなさん、ありがとうございました。

「いやあ、懐かしい」と張り切って参加したお父さん。どうも学童保育の親じゃない。「これって児童課か何かでやっているの」と言うので、「学童保育、放課後ルームの親などの団体です」と説明。「へー良いことやってるね」と評価され

ました。

行田父母会を中心に、ビニールシートの屋根が、あっという間に次々と設置され、雨模様の中、安心して遊ぶことができました。

来年もがくどうまつりで会いましょう

当日は、「雨だってへっちらだよ」と準備が始まりましたが、内心どれくらいの参加があるか不安でした。終わってみると約600人が参加されたのにはびっくり。これもこの企画が子どもとその親の要求にぴったりしたのと、船橋市の後援をいただき、2回もがくどうまつりのチラシを、ルームを通じて配布いただき、宣伝も浸透したためだと思われま。ありがとうございました。

また「あそび」のために、準備と情熱を注がれた各放課後ルームの父母会、前・現指導員、地域の方、実行委員皆様のご協力の賜ものと感謝申し上げます。

また来年も会いましょう！

<がくどうまつり実行委員長 安藤>